

2017年度（2018年3月期） 決算説明会

－2018年5月15日－
代表取締役社長 伊部 充弘

I. 2017年度の業績（連結）

I -1) 決算の概要

I -2) 売上高

I -3) 主要製品売上高

I -4) 海外売上高

II. 2018年度を取り組みと連結業績予想

II -1) 医療用医薬品事業

II -2) コンシューマーヘルスケア事業

II -3) 海外事業

II -4) 研究開発

II -5) 連結業績予想

I. 2017年度の業績（連結）

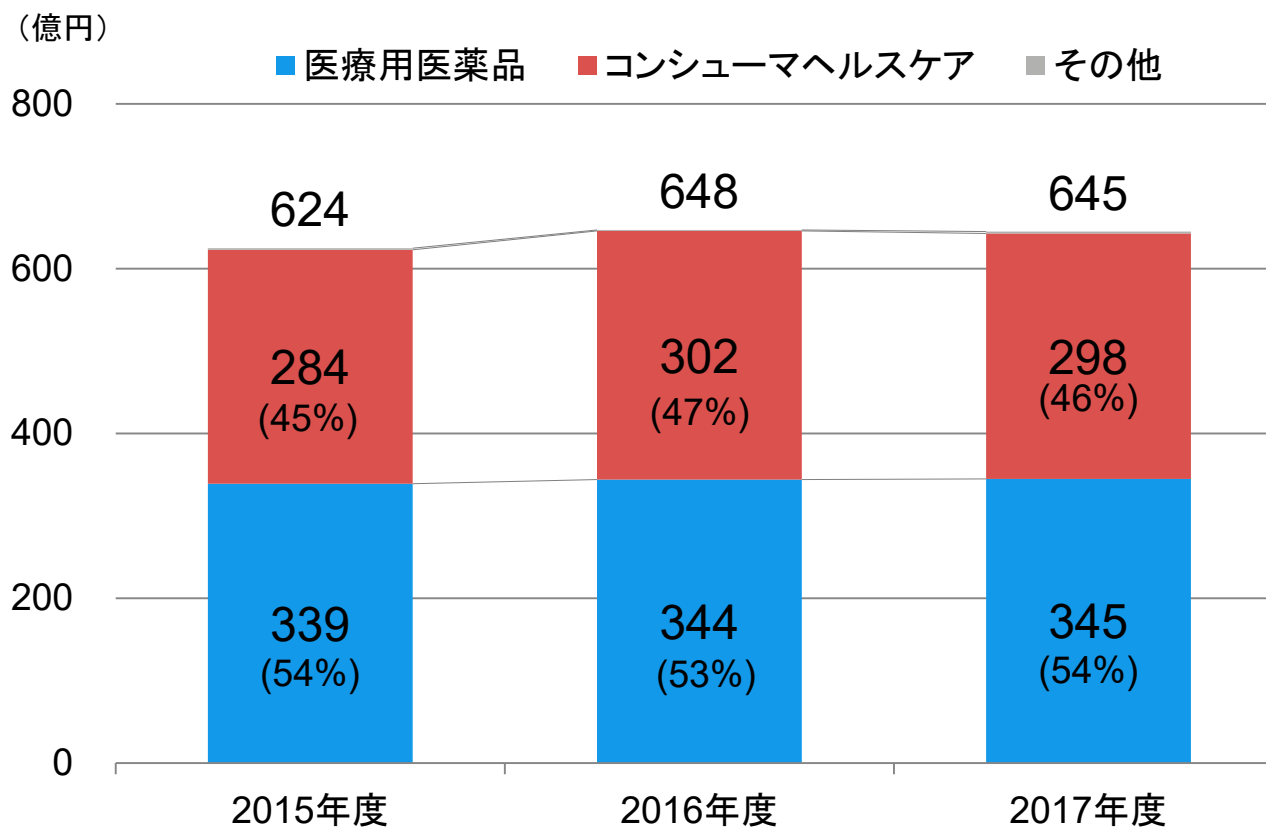
- I -1) 決算の概要
- I -2) 売上高
- I -3) 主要製品売上高
- I -4) 海外売上高

◆ 売上高は前年並み、
親会社株主に帰属する当期純利益は前年比17.3%増

	2016年度		2017年度		
	実績	売上比	実績	売上比	前同伸率
(単位: 百万円)					
売上高	64,849	100.0%	64,568	100.0%	△0.4%
売上総利益	46,691	72.0%	46,235	71.6%	△1.0%
販売管理費	42,149	65.0%	41,405	64.1%	△1.8%
研究開発費	8,458	13.0%	7,331	11.4%	△13.3%
広告宣伝費	3,479	5.4%	3,366	5.2%	△3.2%
営業利益	4,541	7.0%	4,830	7.5%	6.4%
経常利益	4,438	6.8%	5,089	7.9%	14.7%
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,544	5.5%	4,157	6.4%	17.3%
一株当り配当	32円		34円(予定)		

◆ 医療用医薬品事業は微増収の反面、コンシューマーヘルスケア事業が微減

セグメント売上高の推移



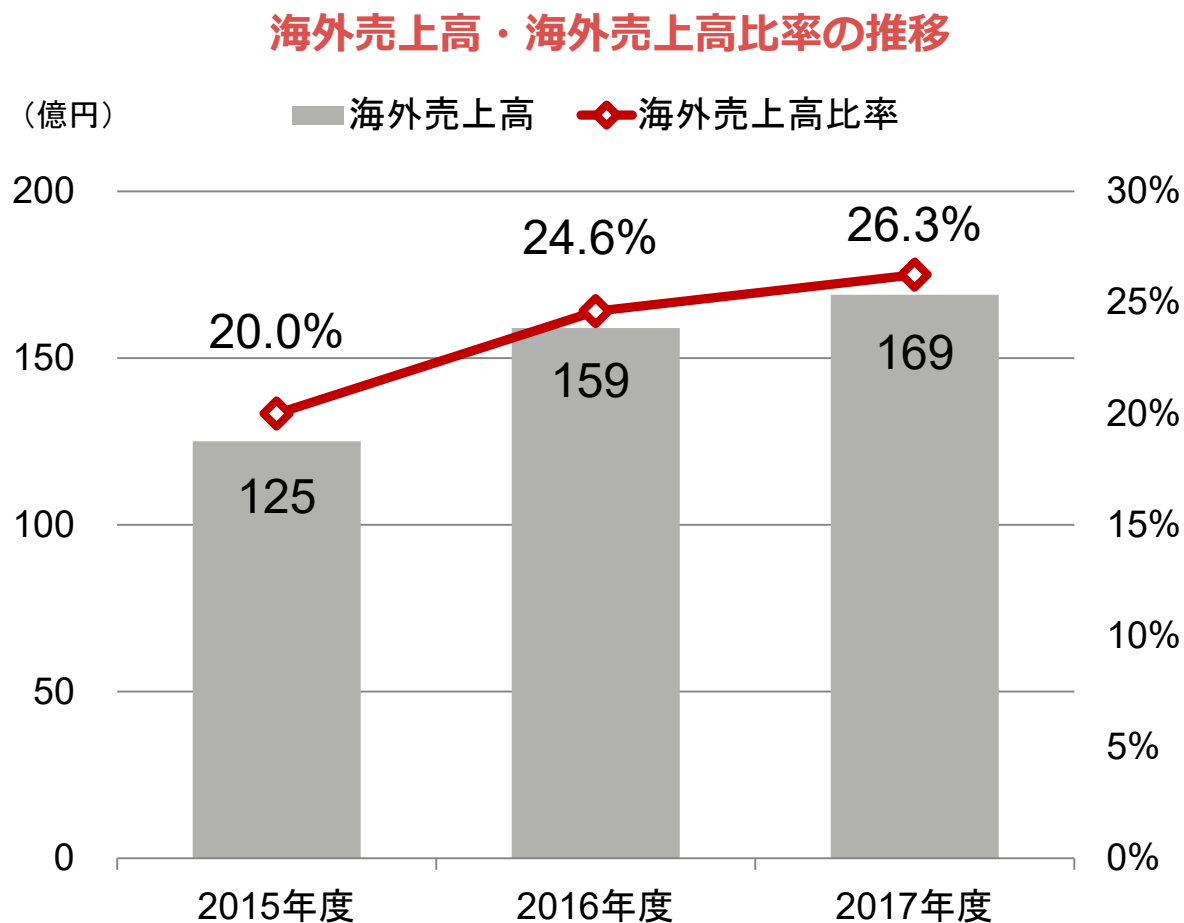
◆ アサコール、エントコートとアコファイドの伸長により、長期収載品の売上減少をカバーし、前年並の売上を計上

		2016年度	2017年度	
(単位:百万円)		実績	実績	前同伸率
医療用医薬品事業	アサコール	34,430	34,583	0.4%
	エントコート	16,650	16,980	2.0%
	アコファイド	4,353	4,469	2.7%
	アコファイド	2,499	3,309	32.4%
	プロマック	2,562	2,053	△19.9%
	アシノン	2,222	1,803	△18.9%
	その他	6,140	5,966	△2.8%

◆ ヘパリーゼ群、ウィズワン群が伸長したものの、コンドロイチン群の売上減少をカバーし切れず、事業全体では微減

		2016年度	2017年度	
(単位:百万円)		実績	実績	前年伸率
コンシューマーヘルスケア事業	ヘパリーゼ群	30,277	29,831	△1.5%
	コンビニ向け	12,582	12,843	2.1%
	医薬品	6,763	6,835	1.1%
	医薬品	5,818	6,008	3.3%
	コンドロイチン群	7,113	6,599	△7.2%
	ウィズワン群	1,599	1,641	2.7%
	その他	8,982	8,746	△2.6%

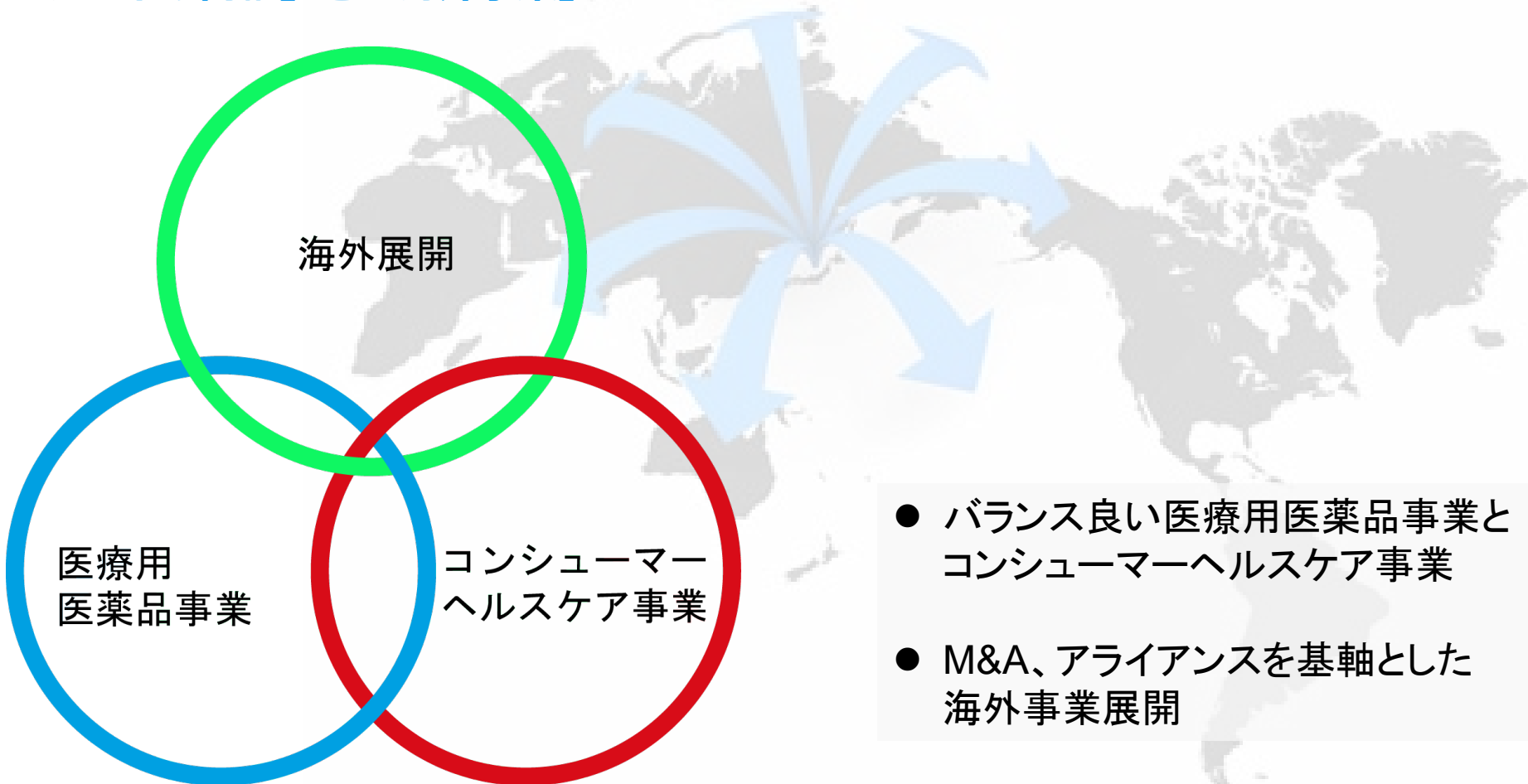
◆ 海外売上高は伸長し、海外売上高比率は26.3%にまで上昇



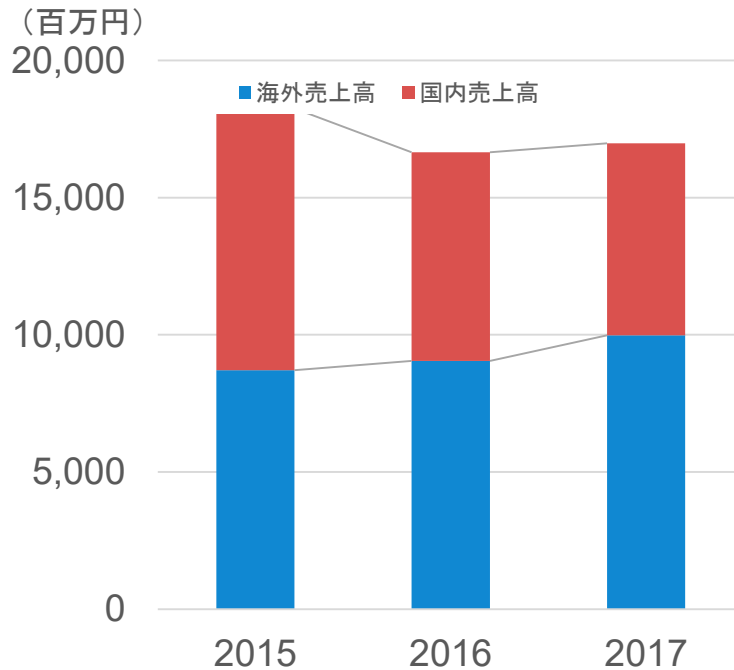
II. 2018年度の取り組みと連結業績予想

- Ⅱ-1) 医療用医薬品事業
- Ⅱ-2) コンシューマーヘルスケア事業
- Ⅱ-3) 海外事業
- Ⅱ-4) 研究開発
- Ⅱ-5) 連結業績予想

◆ 「車の両輪」と「海外事業」



アサコール売上推移（連結）



● 国内市場

- 後発品の販売数量増加は認められない
- 新薬の処方増の影響を受け苦戦

● 海外市場はイギリスを筆頭に売上が伸長

◆アサコール（海外市場）

イギリスが好調に推移し、売上増に寄与

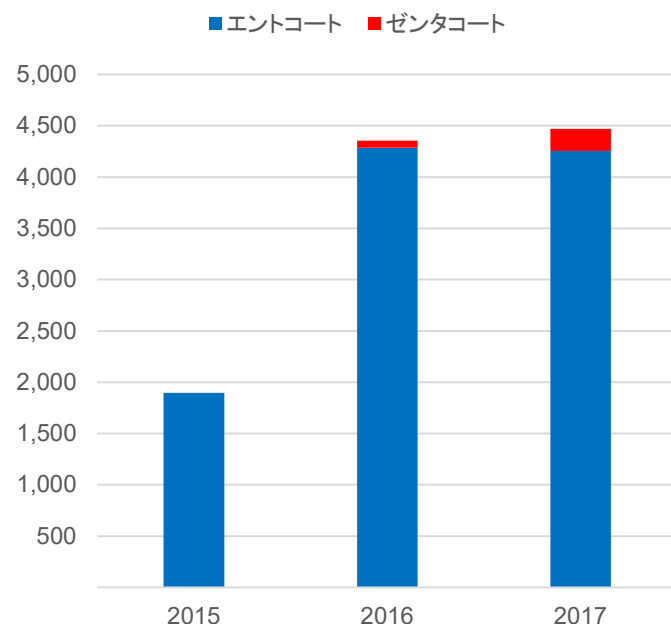
- 引き続き、イギリスの販売が好調に推移
- ドイツ現地法人の営業活動を本格稼働させ、市場シェア獲得を急ぐ

◆ エントコート

海外売上高が微減した一方で、ゼンタコート（国内）が伸長

エントコート 連結売上高推移

(百万円)



● 国内市場

- 2016年11月発売
- 2017年12月より処方制限解除
- 「潰瘍性大腸炎・クローン病治療指針」で軽症から中等症のクローン病治療薬として推奨
- 医療機関における採用率が高い

● 海外市場

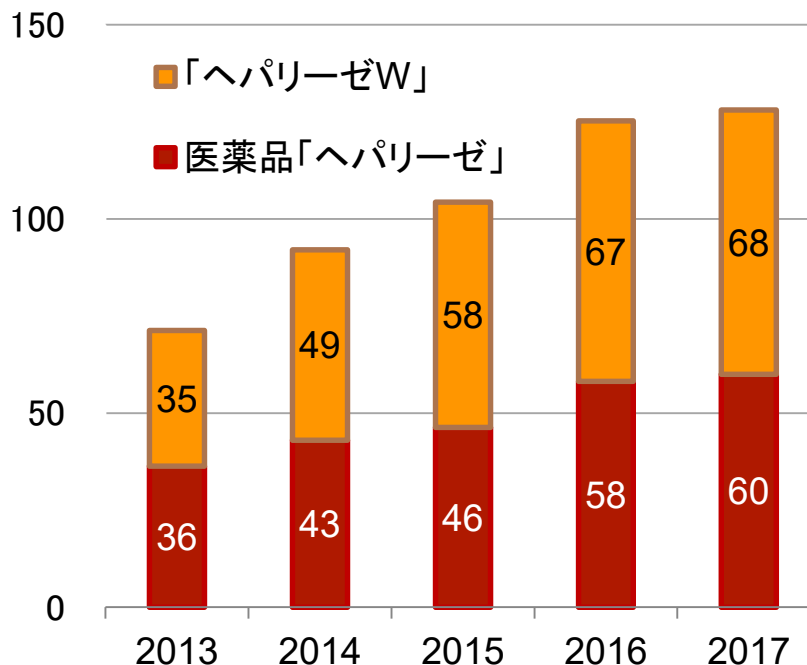
- AstraZenecaから主要マーケットの販売権承継が完了
- 販売移管の途上で営業活動が一時的に停滞し、第2四半期は対前年マイナス
- 第3四半期以降、積極的な営業展開によりマイナスを埋めるも、年間では対前年微減

エントコート 海外市場

- ブデソニド製剤市場規模は引き続き拡大
- 主要販売国で販売承継が完了し、営業活動を本格稼働

高価格帯製品の拡販により売上を拡大

(億円)



医薬品「ヘパリーゼ」

- ヘパリーゼキングの上位品ヘパリーゼキングプラス、同EXなど高価格帯製品を拡販

清涼飲料水「ヘパリーゼW」「ヘパリーゼスーパー」

- ヘパリーゼWシリーズの最上位品、ヘパリーゼWプレミアム極を市場投入
- スーパーマーケットなどの販路を拡大

ヘパリーゼWプレミアム極（きわみ）新発売



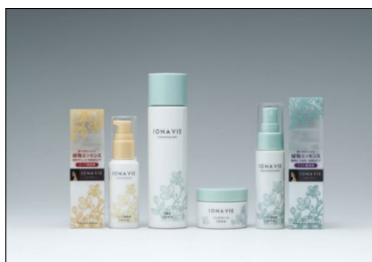
2018年4月発売
800円

ヘパリーゼWシリーズ 高価格帯製品を追加

◆ イオナ スキンケア製品の展開



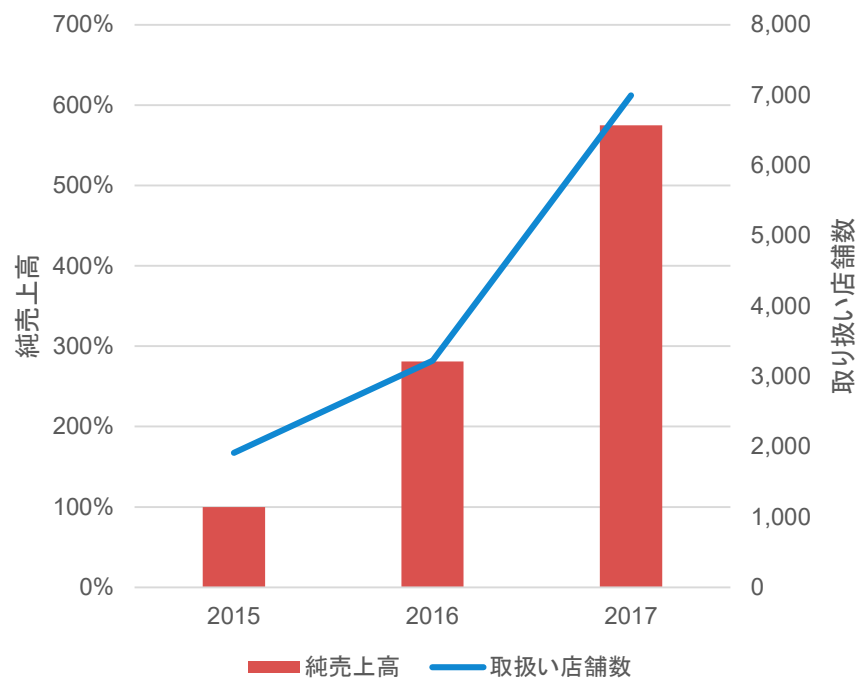
エイジングスキンケア
イオナ エフ シリーズ



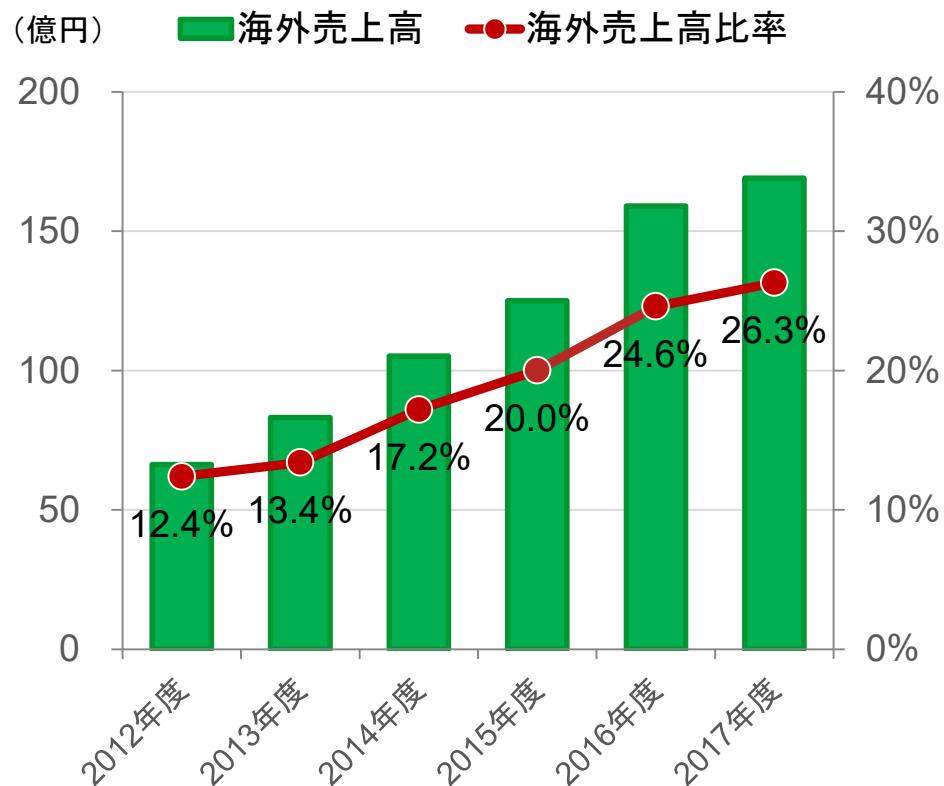
自然派スキンケア
イオナヴィー シリーズ



イオナ スパ&ミネラル
エッセンスジェル



海外売上高推移



- Tillotts Pharma

- 「Asacol」と「Entocort」の市場拡大による持続的成長

- ZPD

- ゼリア向けコンドロイチンバルクの安定供給
- 高品質のコンドロイチンバルクをゼリアグループ外に拡販

- F.T. Pharma

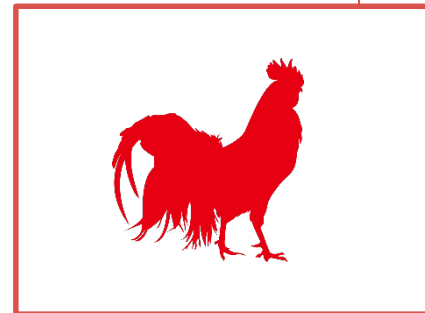
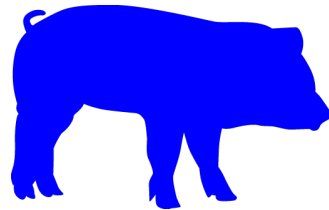
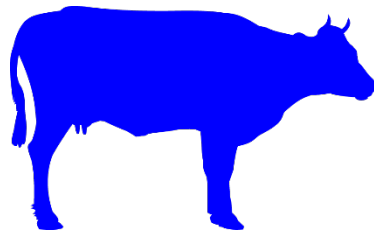
- ベトナム既存事業の販路拡大
- ゼリアグループ製品の市場拡大

◆コンドロイチンバルクビジネス

- 引き続きゼリアグループ外との取引の拡大と新規取引先の開拓を推進

ZPDの生産するコンドロイチン硫酸Na

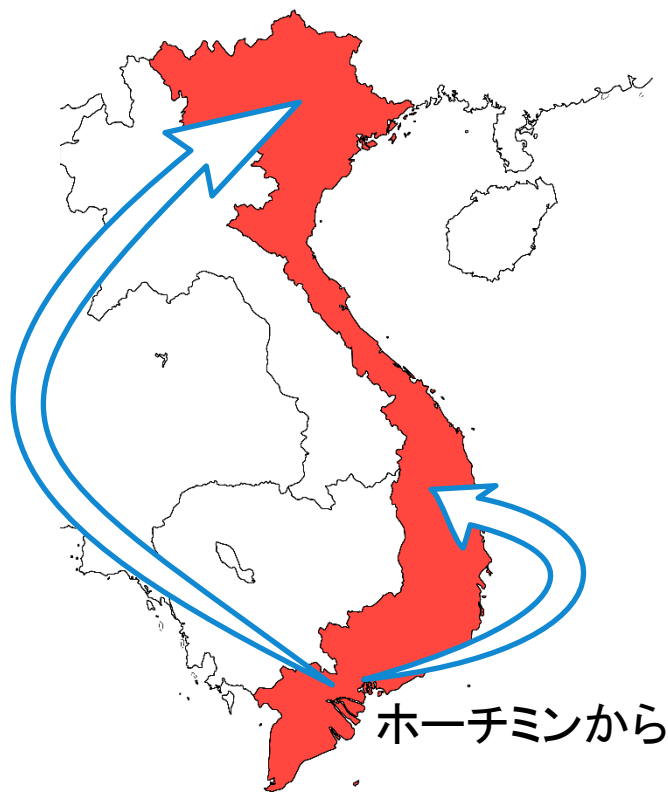
医薬品原料
食品原料
ペットフード原料



- 原料になる軟骨組織の安定確保
- 新たな動物種由来製品の需要に期待

◆ベトナム F.T.ファーマ事業展開

FTファーマ既存製品(医療用医薬品)



- 北部ハノイ、中央高地へ販路を拡大

グループ製品展開

1) 健康食品

- ・ ヘパリーゼW〈粒〉瓶タイプ、
コンドロサポートを市場投入

2) イオナ化粧品

- ・ 年齢層、地域を絞ったデジタルプ
ロモーションを実施
- ・ 通販と美容サロンチャンネルで集
中のに認知向上を図る



Ⅱ-4) 研究開発：パイプラインの状況

上部 消化 管		● Z-360日本・アジア [膵臓癌] ● Z-338米国 [FD]	● Z-338欧州 [FD]	
下部 消化 管				● Z-206中国 [UC] ◆ TP05 [UC]
その他	● Patiromer [高カリウム血症]		● Z-100 日本・アジア [子宮頸癌]	● Z-213 [鉄欠乏性貧血]
	臨床準備中	フェーズⅡ	フェーズⅢ	申請中

●：ゼリア開発品、◆：ティロツツ・ファーマ開発品
FD：機能性ディスぺプシア、UC：潰瘍性大腸炎

Z-213 (海外製品名：ferinject®)

2018年3月に鉄欠乏性貧血を予定適応症として製造販売承認申請



- スイス Vifor Pharmaより導入
- 鉄欠乏性貧血治療のリーディング製品
- 従来の鉄注射剤と比較して高い安全性
- 既存の鉄注射剤と比較して、大量の鉄を静脈内投与出来るので、少ない投与回数で治療が可能になる

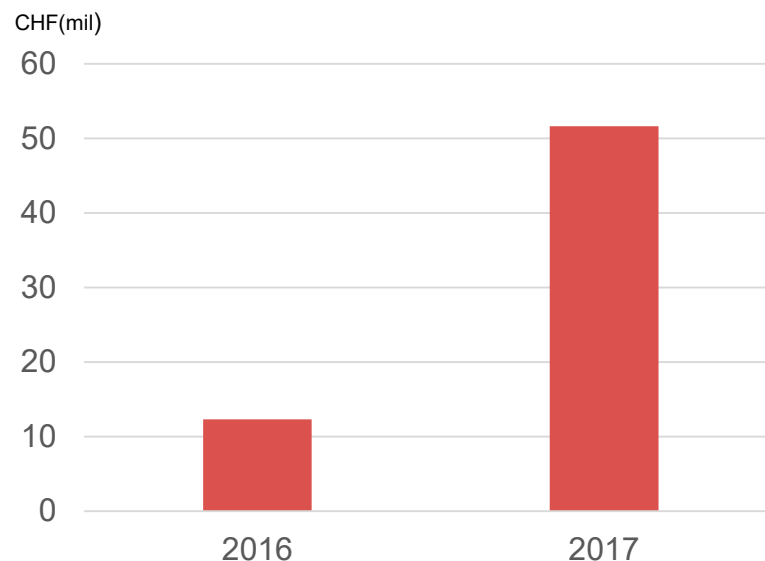
ferinject®: スイスVifor pharma社の登録商標

Ⅱ-4) 研究開発：高カリウム血症治療剤を導入

開発コード未定 (海外製品名：Veltassa®)

- スイス Vifor Pharmaより導入
- 2015年米国で販売、2017年欧州で承認取得
- Patiromer(イオン交換ポリマー)を成分とする高カリウム血症治療剤
- 味やにおいはほとんどない
- 腸内でカリウムイオンを吸着し、便とともに体外へ排泄

米国でのVeltassa®の売上げ



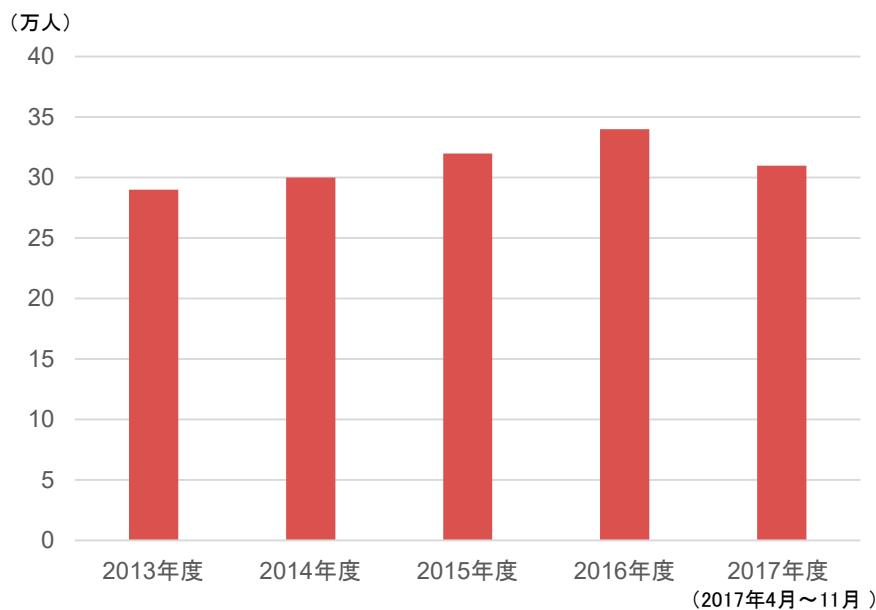
出典：Vifor Pharma ANNUAL REPORT 2017 を元に作成
無断転載禁止

臨床開発スケジュール等 策定中

高カリウム血症とは

- 高カリウム血症は血中のカリウム濃度が異常に高くなった状態。重度の高カリウム血症は、突然の心停止につながる
 - 慢性腎疾患（CKD）、高血圧、糖尿病や心不全の患者で高率に発症
 - 2014年度治療患者数推計 22.2万人
 - 治療が必要な場合はカリウムを吸着する樹脂を投与し、カリウムを体外に排出する
 - 緊急時には透析等によりすみやかに血中の余分なカリウムを取り除く
- 出典：株式会社 富士経済
「2015医療用医薬品データブックNo. 4」より引用

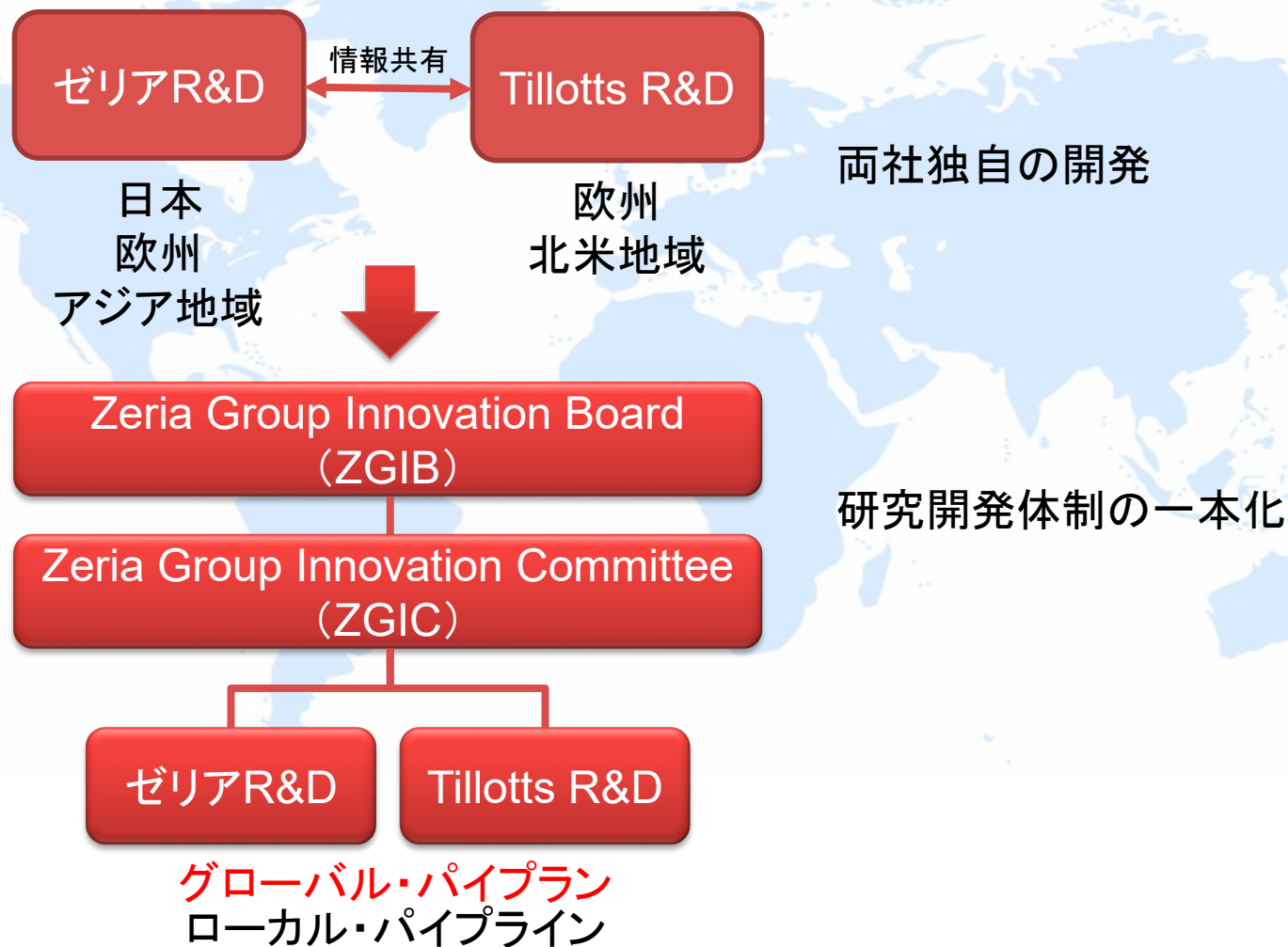
国内高カリウム血症推計患者数



Copyright 2018 日本医療データセンター
出典:JMDCをもとに作成 無断転載禁止

Tillottsとの連携

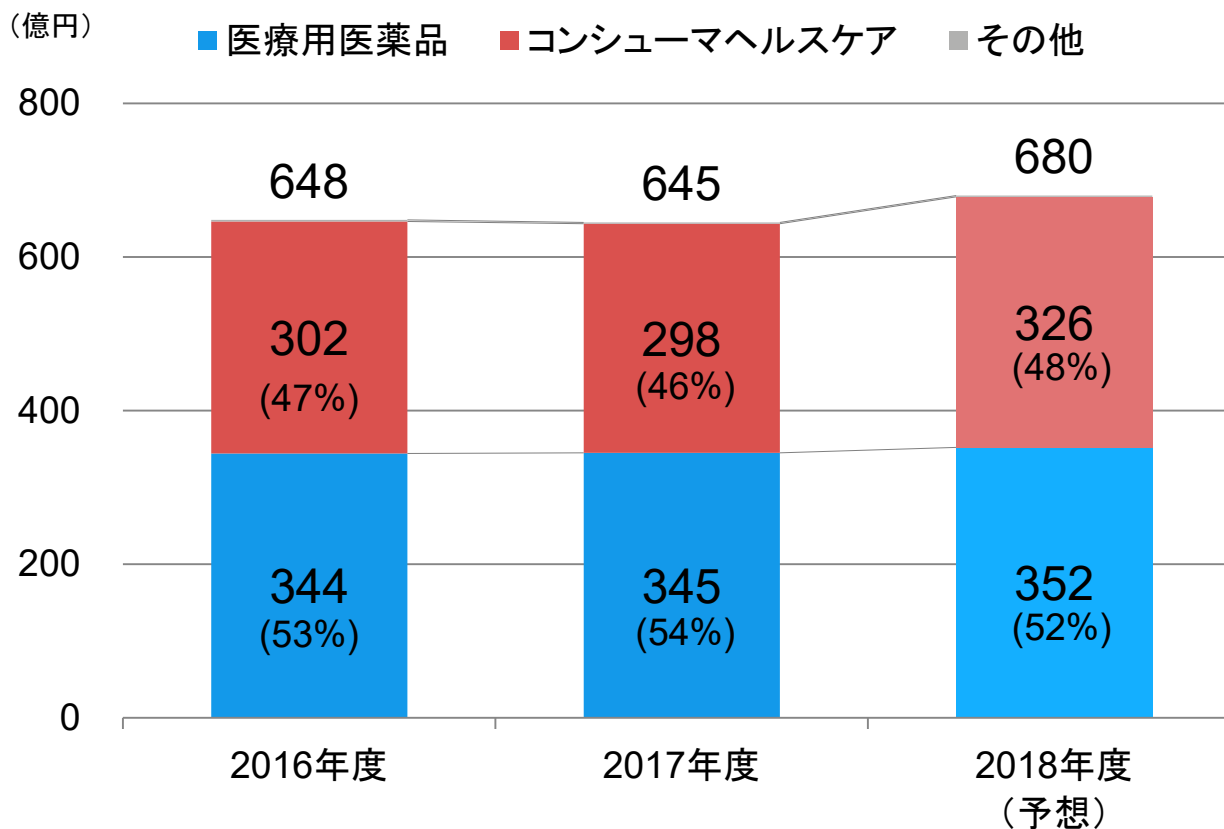
効率的なグローバルパイプラインの構築を目指して



Ⅱ-5) 連結業績予想：概要

	2017年度	2018年度	
	実績	予想	前同伸率
(単位: 百万円)			
売上高	64,568	68,000	5.3%
営業利益	4,830	5,200	7.7%
経常利益	5,089	5,200	2.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	4,157	4,300	3.4%
一株当り配当	34円(予定)	34円(予定)	
研究開発費	7,331	7,700	5.0%
広告宣伝費	3,366	4,000	18.8%
海外売上高	16,952	18,700	10.3%

セグメント売上高の推移



本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があることにご留意ください。又、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

お問い合わせ先：広報部 西澤まで

Tel. 03-3661-1039

Fax. 03-3663-4203